

2022年度 授業評価アンケート報告書

関西学院大学経営戦略研究科

本報告書の概要

本報告書は、関西学院大学経営戦略研究科において 2022 年度に開講された授業についての学生及び教員による評価アンケート結果をまとめたものである。2022 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮しつつ、対面（「ハイフレックス型」を含む）とオンライン（「フルオンライン型」と呼ばれる同時双方向型）で授業の提供を実施した。授業評価アンケートもオンラインで実施した。

授業評価アンケートを実施した授業科目は、2022 年度に開講された 376 講義である。2022 年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は 4,877 人（延べ人数、以下同じ）で、実際にアンケート調査を回答した者は 3,119 人であり、アンケート調査の回答率は 64.0%（春学期 66.1%、秋学期 61.5%）であった。回答率に改善の余地があることから、次年度以降、学生への周知方法や、授業内時間の活用などについて検討を行う。

学生による評価アンケートは、設問 1 から設問 9 が「教員の授業内容と方法」について、設問 10 と設問 11 が「学生自身の取り組み」について、設問 12 から設問 14 が「授業の満足度」についての質問となっており、いずれの設問も 5 段階評価で回答することとなっている。

今回の学生によるアンケート回答結果からは、学生の授業に対する満足度に関する評価は概ね高い水準を維持していることがわかる。設問 13 の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」のスコアは、通年で 4.64、春学期が 4.63、秋学期が 4.64 であった。設問の中で最も高いスコアだったのは、設問 3 の「教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか」で、2022 年度も通年で 4.85 となり、2021 年度に引き続き高い水準を保っている。つまり、担当教員の授業を行うための専門知識に関して、学生から高く評価されていると考えられる。

他方、以前から継続して見られることであるが、学生自身の取り組みについての問いである設問 10 の「この授業を受けるに当たって十分な予習や復習を行いましたか」、及び設問 11 の「この授業を受けるに当たって自分から文献を探すなどの努力をしましたか」のスコアは、教員の授業内容や方法、授業の満足度についての設問のスコア（設問 1～9、設問 12～14）に比較して低い状況が続いている。授業外での課題設定を充実させる工夫が必要となろう。

また、2021 年度から追加されたオンライン授業に関する満足度を評価するための設問（設問 16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）のスコアは、対前年比でやや低下する傾向がみられた。経営戦略研究科は、2022 年度より本格的に、授業を対面・ハイフレックス（オンライン併用型対面授業）・フルオンラインの 3 形態で実施するとともに、授業実施形態にかかわらず履修者に授業の録画を提供しているが、授業担当者の機器操作のスキルを向上させるための取り組みの継続や、サポート体制の充実、さらにノウハウを教員間で共有する機会の確保が必要と考えられる。

経営戦略研究科開講科目の授業担当者による担当科目の自己評価については、各専攻の特徴を踏まえながら、コア、ベーシック、アドバンスト、課題研究の 4 つの科目群に分けて考察した。

まず、企業経営戦略コースでは、グループディスカッション等のアクティブラーニングの導入や実務家をゲストスピーカーとして積極的に招聘する等の特徴がみられた。総じて、「理論と実務の架橋」、つ

まり授業で学んだ内容を履修者個々人が実務で応用できるようになることを意識して授業を構成していることがうかがえる。

コア科目群では、基本的な理論・フレームワークを習得させることに力点が置かれ、また、その理論やフレームワークを履修者個々人のビジネスに合わせて応用できる能力の形成を重視していることがうかがえた。ベーシック科目群では、経営分野の基礎的な概念や理論への理解を深化させ、それらを体系化できる能力形成に力点を置いた授業もみられる。アドバンスト科目群では、発展的な科目という性質から、高い分析力を要求する科目も見られる。課題研究科目群の「課題研究基礎」では、参考文献の渉猟、先行研究の分析・検討など課題研究論文の作成に向けて基礎となる部分を理解させること、「課題研究」では学生が自らのビジネスにかかわる課題や解決すべき社会的問題をテーマに設定して、科学的にアプローチして論理的・実証的に論文にまとめることができるように指導するなど、企業経営戦略コースの意図する内容となっていることが確認できた。

「力を入れた点」と「実施して良かった点」は同じ回答内容となるものもあるが、2019年度までの紙媒体での調査から Web 上での調査に変わり、自由記述回答への記述量が大幅に改善されているため、これらの設問への回答の相違点についての分析が今後は進んでいくものと考えられる。

国際経営コースでは、教員の自己評価と、学生の評価の間にギャップがあることは否定できない。その原因は明確ではないが、ギャップがあることを認識したうえで、そのギャップを埋めていくために教員の取り組みに関して個別に検討する必要があると思われる。

会計専門職専攻では、例年細かな達成度合いについて数量的な把握を行っており、詳述は6. を参照されたい。その中で学生の会計に関する予備知識についての不足が指摘されており、対応策が必要とされるだろう。

1. 授業評価の目的

大学・大学院において第三者評価が義務づけられ、専門職大学院を置く大学は、当該専門職大学院の教育課程、教員組織等その他教育研究活動の状況について、文部科学大臣が認証した評価機関により、5年以内ごとに認証評価を受けることが義務づけられている。その目的は、教育研究等について自己点検・評価し、質の保証を行うとともに、継続的に改善・向上に取り組むためである。また、経営戦略研究科は、教員の資質維持向上の方策のひとつとして、「授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修等の実施」に取り組んでいる。

本研究科では、授業内容及び授業方法の改善を図るため、原則としてクォーターごとに、学生による授業に関するアンケートと教員の担当科目自己評価を実施する。授業評価の目的は、本研究科学生の実態や現状、学生の授業に対する認識・反応などをアンケートから探り、その結果を分析することによって、教育の現場に反映させる基礎資料を作成し、ビジネススクール及びアカウンティングスクールの教育の質的向上を図るとともに、ビジネススクール及びアカウンティングスクール固有の教学上の諸課題を把握し、解明することにある。

学生によるアンケートと並行して行う教員の担当科目自己評価では、各教員は、学生の授業評価の結果を見ない段階で授業を振り返ってオンラインでアンケートの記入を行っている。このため、学生アンケートの集計結果が各教員にフィードバックされた際に、学生の評価と教員自身が作成した評価を対照することで「より良い授業へ」のヒントが得られる仕組みとなっている。

2. 本報告書の構成と作成主体

本報告書は、経営戦略研究科において 2022 年度に開講した授業についての評価アンケートの結果をまとめたものである。本報告書の構成は、2022 年度授業評価アンケート結果概要・分析、授業評価アンケート実施科目一覧、授業評価アンケートフォーム、授業別評定平均値一覧、集計結果表（全体・履修人数・専攻・コース・科目別）、教員の担当科目自己評価表及びグループ・インタビュー調査結果からなっている。

授業評価に関する調査の企画、調査票の作成、及び集計結果についての分析と本報告書の執筆については、本研究科に設置された「経営戦略研究科内部質保証委員会」のメンバーを中心として行われた。

調査の実施の方法等についての詳細は、「3. 調査実施方法及び期間等」のとおりである。今回の調査では、ほぼすべての授業科目及び学生からの回答が得られた。アンケート実施に当たって、貴重な授業時間を割いていただいた各教員に感謝申し上げます。また、実際に回答を寄せていただいた学生諸君に深く謝意を表す。

3. 調査実施方法及び期間等

授業内容については、春学期（第1クォーター、第2クォーター、夏季集中）・秋学期（秋集中、第3クォーター、第4クォーター、冬季集中）の授業終了時に受講生による授業評価を実施している。本報告の対象となる授業評価アンケートの実施方法や実施期間等については、以下のとおりである。

（1）実施対象授業科目について

2022 年度に開講されたすべての授業科目を対象に授業評価アンケートを実施した。複数クラス開講分を含む実施数は、376 講義（春学期 183 講義、秋学期 193 講義）である。その内訳は、経営戦略専攻が 244 講義（企業経営戦略コース 164 講義、国際経営コース 80 講義）、会計専門職専攻が 132 講義である。

（2）回答者、回答率等について

2022 年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は 4,877 人（延べ人数、以下同じ）で、そのうち、春学期が 2,565 人、秋学期が 2,312 人であった。また、実際にアンケート調査を回答した者は 3,119 人（春学期 1,696 人、秋学期 1,423 人）であり、アンケート調査の回答率は 64.0%（春学期 66.1%、秋学期 61.5%）であった。各専攻別の内訳は次のとおりである。

経営戦略専攻の授業科目の履修登録者数は 3,244 人（企業経営戦略コース 2,486 人、及び国際経営コース 758 人）で、そのうち、春学期は 1,698 人（企業経営戦略コース 1,324 人、及び国際経営コース 374 人）、秋学期は 1,546 人（企業経営戦略コース 1,162 人、及び国際経営コース 384 人）であった。アンケート調査の回答者数については、2,158 人（企業経営戦略コース 1,685 人、及び国際経営コース 473 人）であった。そのうち、春学期は 1,192 人（企業経営戦略コース 859 人、及び国際経営コース 245 人）、秋学期は 966 人（企業経営戦略コース 738 人、及び国際経営コース 228 人）であった。回答率は 66.5%（企業経営戦略コース 67.8%、及び国際経営コース 65.5%）である。そのうち、春学期は 70.2%（企業経営戦略コース 71.5%、及び国際経営コース 63.5%）、秋学期は 62.4%（企業経営戦略コース 63.5%、及び国際経営コース 59.4%）であった。

また、会計専門職専攻の授業科目の履修登録者数は 1,633 人（春学期 867 人、秋学期 766 人）で、アンケート調査の回答者数は 961 人（春学期 504 人、秋学期 457 人）あり、その回答率は 58.8%（春学期

58.1%、秋学期 59.7%) であった。

(3) 実施期間について

学生による授業評価アンケートは、以下の期間にオンラインで実施した。

第1クォーター開講科目	:	2022年	5月27日(金)	～	6月9日(木)
第2クォーター開講科目	:	2022年	7月13日(水)	～	8月4日(木)
夏季集中講義期間開講科目	:	2022年	7月29日(金)	～	8月19日(金)
秋季集中講義期間開講科目	:	2022年	9月30日(金)	～	10月11日(火)
第3クォーター開講科目	:	2022年	11月21日(月)	～	12月6日(火)
第4クォーター開講科目	:	2023年	1月24日(火)	～	2月13日(月)
冬季集中講義開講科目	:	2023年	2月7日(火)	～	3月4日(土)

(4) アンケートの実施について

2022年度の「学生による授業評価アンケート」は、質問項目数17(各質問につき最高ポイントを5とした5段階評価)で実施した。アンケートは、経営戦略研究科事務室から「授業に関するアンケート」のオンライン回答フォームのURLを、(3)の各期間に先立ち全履修者宛にメールにて送付し、履修者は上記の実施期間中にオンラインで回答した。このとき、履修者の自由な回答を促進するために、授業担当者は、当該アンケートそのものは閲覧せず、後日事務室より送付の統計データを閲覧するようにした。

「学生による授業評価アンケート」と並行して行った「教員の担当科目自己評価表」については、事前に経営戦略研究科事務室より電子メールにて回答用フォームのURLを各授業担当者に配付し、教員は該当科目の成績報告書提出締切日までにオンライン上で回答した。「教員の担当科目自己評価表」は、選択形式の9つの設問と自由記述形式の3つの設問からなっている。

(5) 集計

2022年度の授業評価アンケートについては、各授業科目・クラスごとに集計を行った。この「授業評価アンケート集計結果」は、各授業クラスの履修登録者数、回答者数(学年別、所属専攻別、出身学部別の回答者数)、各設問の有効回答数、有効回答数の平均値及び専攻平均値が示される。このうち、各設問の有効回答数の平均値と専攻平均値については、グラフによって視覚的にも明示している。

授業評価アンケートには、自由記述に関する設問が3問ある(「この授業で良かったところを具体的に書いてください」、「この授業で変えてほしいところがあれば、具体的に書いてください」及び「この授業に関して気づいたことがあれば書いてください」)。この自由記述の回答内容については、授業内容及び方法の改善のための資料と資する目的から、当初より、公表対象とせず、当該授業担当者の方に配付している。

4. 経営戦略専攻・企業経営戦略コース

A. 学生による授業評価アンケート

(1) 概観

ここでは、2022 年度の授業評価アンケートの結果を、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、同じ調査票が使用されている 2009 年度以降の結果と比較して分析する。表 1 から表 4 は、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、回答の平均値（小数点第三位で四捨五入）を、春学期、秋学期、通年別に示したものである（年度の一番下にある「平均」は 2009 年度から 2022 年度の数字を平均したものである）。なお、2021 年度からは、オンライン授業を評価するための設問（設問 16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）が追加されている。

2022 年度の全科目群（表 1）の評価であるが、設問 1 から設問 14 に関しては、春学期、秋学期、通年のそれぞれで、全ての質問について上昇した。また、質問 13 の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか。」の通年のスコアは、4.60（前年度：4.50）となり、過去と比較して最も高い数字となった。この質問 13 に関しては、コア、ベーシック、アドバンストの科目群ごとの通年で見ても、コア科目群（表 2）が 4.46（前年度：4.31）、ベーシック科目群（表 3）が 4.63（前年度：4.52）、アドバンスト科目群（表 4）が 4.63（前年度：4.57）で、すべて前年度を上回っている。2022 年度より、対面授業が再開され、ハイフレックス（対面とオンラインの学生が同時に受講する）で行われる授業が多くなった。ハイフレックス授業において、学生は対面とオンラインのどちらかを自身が選択することができる。このことが、今回の高い数字につながった可能性がある。

他方、オンライン授業に関する設問 16 の「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」と設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」に関しては、全科目群の通年で、設問 16 が 4.45（前年度：4.54）、設問 17 が 4.38（前年度：4.51）と、わずかではあるが前年度を下回った。通年のコア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群のそれぞれの通年で見ると、コア科目群では、設問 16 が 4.52（前年度：4.51）、設問 17 が 4.38（前年度：4.36）、ベーシック科目群は、設問 16 が 4.35（前年度：4.60）、設問 17 が 4.37（前年度：4.64）、アドバンスト科目群では、設問 16 が 4.47（前年度：4.51）、設問 17 が 4.39（前年度 4.51）であった。コア科目群では、わずかではあるが前年度を上回り、ベーシック科目群とアドバンスト科目群で、前年度を下回っている。数字自体は、依然として高いレベルを維持しているため、大きな問題があったものとは思われないが、2023 年度には、回復するように一層の努力が求められる。

表1：全科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.51	4.58	4.67	4.31	4.35	4.14	4.18	4.13	4.49	3.97	3.91	4.10	4.33	4.19	—	—
2010	4.59	4.59	4.73	4.45	4.48	4.23	4.27	4.28	4.57	4.03	3.88	4.15	4.39	4.24	—	—
2011	4.54	4.59	4.73	4.36	4.51	4.15	4.12	4.17	4.51	4.04	3.88	4.07	4.32	4.26	—	—
2012	4.38	4.47	4.67	4.30	4.42	4.10	4.19	4.12	4.47	3.97	3.73	4.01	4.23	4.32	—	—
2013	4.55	4.57	4.71	4.36	4.45	4.13	4.19	4.14	4.50	3.99	3.83	4.08	4.31	4.39	—	—
2014	4.57	4.57	4.74	4.42	4.48	4.23	4.32	4.22	4.57	4.06	3.87	4.13	4.40	4.46	—	—
2015	4.59	4.62	4.74	4.46	4.54	4.29	4.35	4.32	4.60	4.02	3.86	4.16	4.44	4.51	—	—
2016	4.55	4.63	4.73	4.41	4.47	4.23	4.33	4.22	4.53	4.03	3.82	4.16	4.39	4.46	—	—
2017	4.60	4.61	4.76	4.42	4.48	4.19	4.31	4.18	4.57	4.02	3.88	4.12	4.37	4.46	—	—
2018	4.65	4.69	4.78	4.50	4.55	4.35	4.36	4.41	4.65	4.10	4.17	4.26	4.49	4.56	—	—
2019	4.62	4.69	4.82	4.55	4.60	4.40	4.44	4.41	4.67	4.18	4.24	4.31	4.54	4.60	—	—
2020	4.52	4.60	4.78	4.45	4.39	4.03	4.30	4.24	4.48	4.19	4.27	4.21	4.36	4.50	—	—
2021	4.67	4.74	4.82	4.61	4.66	4.30	4.50	4.40	4.74	4.40	4.36	4.31	4.49	4.58	4.52	4.51
2022	4.71	4.77	4.86	4.67	4.71	4.43	4.53	4.45	4.78	4.46	4.43	4.43	4.63	4.67	4.48	4.38
平均	4.57	4.62	4.75	4.45	4.51	4.23	4.31	4.26	4.58	4.10	4.01	4.18	4.41	4.44	4.50	4.45

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.58	4.57	4.71	4.43	4.39	4.20	4.28	4.32	4.54	4.03	4.01	4.15	4.39	4.30	—	—
2010	4.66	4.64	4.71	4.51	4.52	4.30	4.38	4.34	4.58	4.14	4.04	4.24	4.40	4.34	—	—
2011	4.56	4.58	4.71	4.42	4.46	4.27	4.27	4.27	4.59	4.00	3.92	4.17	4.40	4.27	—	—
2012	4.50	4.58	4.68	4.38	4.43	4.16	4.21	4.22	4.49	4.02	3.87	4.06	4.27	4.35	—	—
2013	4.46	4.49	4.61	4.31	4.37	4.12	4.21	4.16	4.49	4.00	3.94	4.04	4.26	4.32	—	—
2014	4.61	4.63	4.74	4.49	4.54	4.33	4.37	4.29	4.60	4.13	4.00	4.20	4.43	4.52	—	—
2015	4.62	4.66	4.75	4.49	4.57	4.37	4.38	4.36	4.64	4.08	3.98	4.25	4.46	4.50	—	—
2016	4.63	4.67	4.80	4.51	4.46	4.28	4.36	4.28	4.59	4.02	3.88	4.18	4.49	4.54	—	—
2017	4.66	4.72	4.82	4.53	4.53	4.37	4.36	4.33	4.64	4.09	3.97	4.25	4.51	4.57	—	—
2018	4.74	4.74	4.81	4.63	4.70	4.54	4.51	4.50	4.74	4.29	4.30	4.41	4.63	4.67	—	—
2019	4.63	4.67	4.80	4.52	4.56	4.40	4.43	4.41	4.65	4.23	4.20	4.34	4.53	4.59	—	—
2020	4.62	4.66	4.80	4.55	4.54	4.25	4.35	4.38	4.63	4.35	4.30	4.28	4.46	4.57	—	—
2021	4.69	4.70	4.79	4.57	4.61	4.38	4.46	4.41	4.70	4.33	4.29	4.29	4.51	4.58	4.55	4.51
2022	4.71	4.74	4.84	4.60	4.69	4.48	4.48	4.45	4.72	4.47	4.40	4.41	4.57	4.65	4.41	4.39
平均	4.62	4.65	4.76	4.50	4.53	4.32	4.36	4.34	4.61	4.16	4.08	4.23	4.45	4.48	4.48	4.45

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.57	4.69	4.37	4.37	4.17	4.23	4.22	4.51	4.00	3.95	4.12	4.36	4.25	—	—
2010	4.62	4.61	4.72	4.48	4.49	4.26	4.32	4.31	4.58	4.08	3.95	4.19	4.40	4.29	—	—
2011	4.55	4.58	4.72	4.38	4.49	4.20	4.19	4.22	4.55	4.03	3.90	4.12	4.36	4.27	—	—
2012	4.44	4.52	4.68	4.34	4.42	4.13	4.20	4.17	4.48	4.00	3.80	4.03	4.25	4.34	—	—
2013	4.51	4.53	4.66	4.34	4.41	4.13	4.19	4.15	4.50	4.00	3.88	4.06	4.29	4.36	—	—
2014	4.59	4.60	4.74	4.45	4.51	4.28	4.34	4.26	4.58	4.09	3.92	4.16	4.41	4.49	—	—
2015	4.60	4.63	4.74	4.48	4.55	4.33	4.37	4.34	4.62	4.05	3.91	4.20	4.45	4.50	—	—
2016	4.59	4.65	4.77	4.46	4.46	4.26	4.34	4.25	4.56	4.02	3.85	4.17	4.44	4.50	—	—
2017	4.63	4.66	4.79	4.47	4.50	4.28	4.33	4.25	4.60	4.05	3.92	4.18	4.43	4.51	—	—
2018	4.69	4.72	4.79	4.57	4.62	4.45	4.44	4.46	4.69	4.20	4.23	4.34	4.56	4.62	—	—
2019	4.63	4.68	4.81	4.53	4.58	4.40	4.44	4.41	4.66	4.20	4.22	4.32	4.53	4.60	—	—
2020	4.57	4.63	4.79	4.50	4.47	4.14	4.32	4.30	4.55	4.27	4.28	4.24	4.41	4.53	—	—
2021	4.68	4.72	4.80	4.59	4.63	4.34	4.48	4.41	4.72	4.37	4.33	4.30	4.50	4.58	4.54	4.51
2022	4.71	4.76	4.86	4.64	4.70	4.46	4.51	4.45	4.75	4.46	4.42	4.42	4.60	4.66	4.45	4.38
平均	4.60	4.63	4.75	4.47	4.51	4.27	4.34	4.30	4.60	4.13	4.04	4.20	4.43	4.46	4.49	4.45

表2：コア科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.40	4.48	4.69	4.15	4.17	3.98	4.06	3.92	4.43	3.84	3.78	3.89	4.16	4.03	—	—
2010	4.46	4.42	4.59	4.39	4.18	3.96	4.10	3.92	4.39	3.93	3.79	3.86	4.10	3.98	—	—
2011	4.41	4.39	4.64	4.10	4.07	3.72	3.86	3.73	4.24	3.85	3.50	3.56	3.85	3.90	—	—
2012	4.01	4.12	4.47	3.87	4.06	3.57	3.78	3.69	4.19	3.71	3.32	3.47	3.63	3.80	—	—
2013	4.50	4.45	4.71	4.29	4.32	3.87	3.97	3.98	4.37	3.90	3.62	3.93	4.16	4.27	—	—
2014	4.49	4.52	4.80	4.44	4.32	4.11	4.20	4.10	4.50	4.04	3.66	4.00	4.30	4.40	—	—
2015	4.48	4.46	4.75	4.28	4.39	4.03	4.20	4.15	4.43	3.76	3.55	3.86	4.25	4.36	—	—
2016	4.43	4.57	4.70	4.29	4.27	4.15	4.25	4.07	4.37	3.92	3.63	4.01	4.23	4.33	—	—
2017	4.52	4.51	4.79	4.37	4.39	4.09	4.28	4.11	4.44	3.86	3.56	3.92	4.27	4.38	—	—
2018	4.52	4.60	4.81	4.42	4.41	4.16	4.17	4.21	4.58	4.08	4.00	4.05	4.32	4.42	—	—
2019	4.54	4.58	4.77	4.47	4.46	4.26	4.25	4.24	4.55	4.08	4.11	4.11	4.38	4.51	—	—
2020	4.53	4.58	4.81	4.51	4.30	3.90	4.31	4.15	4.37	4.15	4.24	4.09	4.24	4.45	—	—
2021	4.56	4.63	4.73	4.53	4.54	4.04	4.40	4.19	4.66	4.23	4.26	4.12	4.27	4.41	4.46	4.23
2022	4.62	4.63	4.77	4.58	4.55	4.18	4.37	4.29	4.68	4.31	4.31	4.19	4.48	4.55	4.51	4.26
平均	4.46	4.50	4.72	4.33	4.32	4.00	4.16	4.05	4.44	3.98	3.81	3.93	4.19	4.27	4.49	4.25

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.55	4.48	4.69	4.38	4.03	3.82	4.03	4.13	4.39	3.95	3.86	3.86	4.16	4.03	—	—
2010	4.72	4.68	4.78	4.52	4.25	4.10	4.35	4.34	4.57	4.20	3.96	4.10	4.29	4.15	—	—
2011	4.49	4.41	4.64	4.38	4.15	4.03	4.09	4.07	4.46	4.01	3.90	3.99	4.19	4.08	—	—
2012	4.08	4.13	4.35	3.78	3.84	3.59	3.84	3.82	4.08	3.66	3.38	3.57	3.65	3.80	—	—
2013	4.27	4.24	4.53	4.15	4.17	3.99	4.22	4.19	4.28	3.89	3.72	3.96	4.10	4.23	—	—
2014	4.50	4.55	4.75	4.40	4.29	4.14	4.24	4.15	4.49	4.03	3.72	3.97	4.21	4.33	—	—
2015	4.50	4.53	4.76	4.31	4.39	4.17	4.33	4.30	4.51	3.94	3.64	4.06	4.28	4.33	—	—
2016	4.39	4.47	4.73	4.32	4.01	4.02	4.23	4.22	4.24	3.74	3.58	3.90	4.25	4.27	—	—
2017	4.48	4.56	4.76	4.42	4.23	4.11	4.19	4.25	4.40	3.88	3.60	3.98	4.29	4.36	—	—
2018	4.68	4.73	4.84	4.52	4.48	4.47	4.44	4.51	4.63	4.01	4.12	4.20	4.56	4.57	—	—
2019	4.45	4.56	4.77	4.36	4.26	4.19	4.25	4.20	4.41	3.88	3.99	4.02	4.26	4.38	—	—
2020	4.38	4.51	4.70	4.38	4.31	3.90	4.11	4.14	4.39	4.05	4.06	3.78	4.05	4.23	—	—
2021	4.69	4.67	4.80	4.55	4.54	4.26	4.40	4.37	4.65	4.21	4.19	4.09	4.37	4.40	4.58	4.52
2022	4.57	4.68	4.84	4.54	4.63	4.38	4.54	4.45	4.61	4.33	4.29	4.27	4.41	4.51	4.55	4.64
平均	4.48	4.51	4.71	4.36	4.26	4.08	4.23	4.22	4.44	3.98	3.86	3.98	4.22	4.26	4.57	4.58

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.45	4.48	4.69	4.24	4.12	3.92	4.05	4.00	4.42	3.89	3.81	3.88	4.16	4.03	—	—
2010	4.58	4.54	4.68	4.45	4.21	4.03	4.21	4.11	4.47	4.05	3.87	3.97	4.19	4.06	—	—
2011	4.45	4.40	4.64	4.25	4.11	3.89	3.98	3.91	4.36	3.94	3.71	3.79	4.03	4.00	—	—
2012	4.04	4.12	4.42	3.83	3.98	3.58	3.81	3.74	4.15	3.69	3.34	3.51	3.64	3.80	—	—
2013	4.43	4.39	4.66	4.25	4.27	3.91	4.05	4.05	4.35	3.89	3.65	3.94	4.14	4.26	—	—
2014	4.50	4.53	4.78	4.42	4.31	4.12	4.22	4.12	4.49	4.04	3.69	3.99	4.26	4.37	—	—
2015	4.49	4.49	4.76	4.29	4.39	4.09	4.25	4.21	4.46	3.83	3.59	3.94	4.26	4.35	—	—
2016	4.41	4.51	4.71	4.31	4.14	4.08	4.24	4.15	4.30	3.83	3.60	3.95	4.24	4.30	—	—
2017	4.50	4.54	4.77	4.40	4.30	4.10	4.23	4.18	4.42	3.87	3.58	3.95	4.28	4.37	—	—
2018	4.58	4.65	4.82	4.46	4.44	4.28	4.28	4.33	4.60	4.05	4.05	4.11	4.42	4.48	—	—
2019	4.49	4.57	4.77	4.42	4.36	4.23	4.25	4.22	4.48	3.98	4.05	4.07	4.32	4.44	—	—
2020	4.47	4.55	4.77	4.46	4.31	3.90	4.22	4.15	4.38	4.11	4.17	3.96	4.16	4.36	—	—
2021	4.61	4.65	4.76	4.54	4.54	4.13	4.40	4.27	4.66	4.22	4.23	4.10	4.31	4.41	4.51	4.36
2022	4.60	4.65	4.79	4.56	4.58	4.24	4.42	4.35	4.66	4.32	4.30	4.21	4.46	4.54	4.52	4.38
平均	4.47	4.50	4.72	4.35	4.29	4.04	4.19	4.13	4.44	3.98	3.83	3.96	4.20	4.27	4.52	4.37

表3：ベーシック科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.49	4.53	4.57	4.25	4.30	4.05	4.11	4.06	4.39	3.97	3.85	4.05	4.28	4.18	—	—
2010	4.61	4.60	4.78	4.45	4.54	4.22	4.23	4.28	4.60	4.04	3.82	4.17	4.41	4.21	—	—
2011	4.53	4.63	4.75	4.38	4.57	4.15	4.00	4.18	4.51	4.01	3.76	4.06	4.36	4.31	—	—
2012	4.38	4.55	4.72	4.38	4.47	4.16	4.18	4.16	4.45	3.98	3.65	4.08	4.32	4.41	—	—
2013	4.59	4.65	4.75	4.37	4.55	4.18	4.15	4.16	4.52	3.98	3.64	4.05	4.30	4.39	—	—
2014	4.55	4.51	4.68	4.31	4.47	4.10	4.27	4.12	4.49	3.99	3.73	4.00	4.30	4.37	—	—
2015	4.70	4.75	4.79	4.61	4.66	4.32	4.43	4.37	4.65	4.13	3.93	4.27	4.51	4.61	—	—
2016	4.53	4.62	4.71	4.40	4.54	4.18	4.34	4.22	4.54	3.98	3.76	4.12	4.40	4.47	—	—
2017	4.55	4.57	4.78	4.38	4.48	4.09	4.16	4.10	4.54	4.04	3.82	4.00	4.22	4.32	—	—
2018	4.63	4.71	4.82	4.50	4.57	4.29	4.24	4.31	4.61	4.14	4.15	4.20	4.44	4.54	—	—
2019	4.62	4.68	4.81	4.53	4.62	4.29	4.41	4.39	4.65	4.22	4.28	4.26	4.50	4.49	—	—
2020	4.57	4.69	4.83	4.49	4.48	4.00	4.28	4.21	4.57	4.35	4.35	4.32	4.41	4.57	—	—
2021	4.63	4.74	4.84	4.61	4.66	4.28	4.41	4.33	4.74	4.42	4.40	4.36	4.47	4.56	4.52	4.63
2022	4.72	4.83	4.91	4.73	4.73	4.44	4.51	4.37	4.81	4.53	4.51	4.53	4.65	4.71	4.37	4.47
平均	4.58	4.65	4.77	4.46	4.55	4.20	4.27	4.23	4.58	4.13	3.97	4.18	4.40	4.44	4.45	4.55

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.60	4.54	4.67	4.39	4.27	4.10	4.19	4.22	4.38	3.99	3.83	4.10	4.33	4.27	—	—
2010	4.65	4.67	4.75	4.50	4.53	4.29	4.32	4.29	4.51	4.04	3.79	4.27	4.41	4.35	—	—
2011	4.50	4.59	4.73	4.38	4.57	4.21	4.22	4.27	4.60	3.90	3.73	4.18	4.34	4.23	—	—
2012	4.61	4.67	4.77	4.52	4.46	4.23	4.24	4.24	4.51	4.11	3.81	4.15	4.35	4.48	—	—
2013	4.39	4.38	4.57	4.18	4.17	3.92	4.03	3.92	4.37	3.85	3.73	3.83	4.10	4.18	—	—
2014	4.57	4.57	4.68	4.41	4.52	4.29	4.28	4.26	4.54	4.05	3.90	4.16	4.36	4.43	—	—
2015	4.69	4.64	4.75	4.53	4.53	4.31	4.29	4.37	4.61	4.02	3.80	4.16	4.45	4.47	—	—
2016	4.64	4.73	4.81	4.55	4.58	4.37	4.39	4.38	4.66	4.00	3.75	4.23	4.53	4.55	—	—
2017	4.65	4.73	4.78	4.52	4.49	4.29	4.35	4.26	4.63	4.04	3.92	4.16	4.39	4.47	—	—
2018	4.73	4.75	4.85	4.66	4.76	4.50	4.56	4.50	4.75	4.33	4.30	4.42	4.62	4.68	—	—
2019	4.63	4.65	4.76	4.50	4.52	4.32	4.38	4.35	4.59	4.22	4.06	4.30	4.45	4.53	—	—
2020	4.73	4.76	4.89	4.66	4.61	4.27	4.47	4.48	4.72	4.35	4.38	4.41	4.51	4.64	—	—
2021	4.80	4.75	4.82	4.67	4.64	4.34	4.54	4.48	4.73	4.39	4.34	4.32	4.57	4.65	4.69	4.65
2022	4.74	4.79	4.88	4.69	4.63	4.45	4.51	4.52	4.69	4.52	4.35	4.39	4.60	4.68	4.30	4.22
平均	4.64	4.66	4.77	4.51	4.52	4.28	4.34	4.32	4.59	4.13	3.98	4.22	4.43	4.47	4.50	4.44

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.54	4.61	4.31	4.29	4.07	4.14	4.13	4.39	3.97	3.84	4.07	4.30	4.21	—	—
2010	4.63	4.63	4.77	4.47	4.54	4.24	4.26	4.28	4.57	4.04	3.81	4.20	4.41	4.26	—	—
2011	4.52	4.61	4.74	4.38	4.57	4.17	4.07	4.21	4.54	3.97	3.75	4.10	4.35	4.28	—	—
2012	4.48	4.60	4.74	4.44	4.47	4.19	4.21	4.19	4.48	4.04	3.72	4.11	4.33	4.44	—	—
2013	4.50	4.52	4.66	4.28	4.37	4.05	4.09	4.05	4.45	3.92	3.69	3.94	4.21	4.29	—	—
2014	4.56	4.54	4.68	4.36	4.50	4.20	4.27	4.20	4.52	4.02	3.82	4.08	4.33	4.40	—	—
2015	4.69	4.70	4.78	4.57	4.60	4.31	4.37	4.37	4.63	4.08	3.87	4.22	4.48	4.54	—	—
2016	4.59	4.68	4.76	4.48	4.56	4.28	4.36	4.30	4.60	3.99	3.75	4.17	4.46	4.51	—	—
2017	4.60	4.65	4.78	4.45	4.48	4.19	4.26	4.18	4.58	4.04	3.87	4.08	4.30	4.40	—	—
2018	4.68	4.73	4.83	4.58	4.67	4.40	4.41	4.41	4.68	4.25	4.23	4.31	4.54	4.61	—	—
2019	4.62	4.66	4.78	4.51	4.57	4.31	4.39	4.37	4.62	4.22	4.17	4.28	4.48	4.51	—	—
2020	4.64	4.73	4.86	4.57	4.54	4.13	4.37	4.33	4.64	4.35	4.37	4.36	4.46	4.60	—	—
2021	4.71	4.75	4.83	4.64	4.65	4.31	4.47	4.40	4.73	4.41	4.37	4.34	4.52	4.60	4.60	4.64
2022	4.73	4.82	4.90	4.71	4.70	4.44	4.51	4.43	4.76	4.53	4.45	4.48	4.63	4.70	4.35	4.37
平均	4.61	4.65	4.77	4.48	4.54	4.24	4.30	4.27	4.59	4.13	3.98	4.20	4.41	4.45	4.47	4.50

表4：アドバンスト科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.62	4.71	4.77	4.51	4.56	4.39	4.37	4.39	4.65	4.07	4.07	4.32	4.53	4.35	—	—
2010	4.64	4.67	4.74	4.48	4.56	4.39	4.42	4.48	4.64	4.07	4.01	4.27	4.54	4.42	—	—
2011	4.61	4.63	4.75	4.46	4.64	4.34	4.36	4.36	4.63	4.16	4.17	4.31	4.50	4.38	—	—
2012	4.60	4.63	4.77	4.51	4.60	4.39	4.45	4.35	4.67	4.12	4.07	4.28	4.52	4.58	—	—
2013	4.55	4.57	4.68	4.41	4.46	4.27	4.35	4.24	4.57	4.07	4.10	4.21	4.43	4.48	—	—
2014	4.60	4.62	4.74	4.46	4.56	4.35	4.40	4.33	4.65	4.11	4.02	4.25	4.49	4.54	—	—
2015	4.58	4.63	4.71	4.48	4.55	4.41	4.39	4.38	4.66	4.09	3.97	4.26	4.51	4.54	—	—
2016	4.60	4.66	4.76	4.45	4.50	4.28	4.35	4.28	4.59	4.10	3.92	4.23	4.44	4.51	—	—
2017	4.64	4.65	4.74	4.45	4.50	4.26	4.37	4.23	4.62	4.06	4.00	4.22	4.45	4.54	—	—
2018	4.71	4.72	4.76	4.54	4.59	4.46	4.49	4.53	4.69	4.09	4.25	4.37	4.57	4.63	—	—
2019	4.66	4.73	4.84	4.58	4.64	4.50	4.52	4.47	4.72	4.19	4.27	4.39	4.62	4.68	—	—
2020	4.49	4.55	4.73	4.39	4.36	4.11	4.32	4.29	4.48	4.10	4.22	4.19	4.38	4.48	—	—
2021	4.75	4.79	4.84	4.65	4.71	4.45	4.60	4.56	4.78	4.49	4.39	4.39	4.62	4.69	4.56	4.59
2022	4.74	4.78	4.87	4.68	4.76	4.54	4.63	4.59	4.81	4.46	4.42	4.47	4.67	4.70	4.52	4.38
平均	4.63	4.67	4.76	4.50	4.57	4.37	4.43	4.39	4.65	4.16	4.13	4.30	4.52	4.54	4.54	4.48

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.57	4.61	4.74	4.47	4.58	4.38	4.42	4.45	4.68	4.09	4.17	4.28	4.51	4.41	—	—
2010	4.64	4.61	4.67	4.50	4.61	4.38	4.42	4.36	4.62	4.18	4.20	4.28	4.43	4.40	—	—
2011	4.64	4.67	4.74	4.46	4.58	4.44	4.40	4.39	4.66	4.06	4.04	4.27	4.55	4.40	—	—
2012	4.58	4.67	4.74	4.50	4.61	4.31	4.31	4.36	4.61	4.10	4.06	4.18	4.44	4.47	—	—
2013	4.56	4.62	4.66	4.43	4.55	4.28	4.31	4.30	4.62	4.12	4.12	4.19	4.40	4.43	—	—
2014	4.68	4.71	4.79	4.59	4.65	4.43	4.49	4.37	4.69	4.22	4.18	4.31	4.58	4.66	—	—
2015	4.63	4.71	4.74	4.54	4.65	4.47	4.44	4.37	4.69	4.16	4.17	4.35	4.53	4.57	—	—
2016	4.71	4.73	4.81	4.56	4.57	4.34	4.39	4.26	4.69	4.13	4.05	4.26	4.57	4.64	—	—
2017	4.74	4.78	4.87	4.58	4.67	4.53	4.44	4.40	4.74	4.20	4.15	4.41	4.66	4.70	—	—
2018	4.76	4.75	4.78	4.64	4.73	4.58	4.51	4.50	4.76	4.34	4.34	4.46	4.65	4.70	—	—
2019	4.70	4.73	4.83	4.59	4.69	4.51	4.52	4.51	4.76	4.36	4.34	4.48	4.65	4.70	—	—
2020	4.64	4.66	4.78	4.55	4.59	4.36	4.36	4.40	4.66	4.46	4.33	4.37	4.57	4.65	—	—
2021	4.64	4.69	4.77	4.54	4.62	4.43	4.44	4.39	4.70	4.35	4.30	4.34	4.53	4.60	4.47	4.45
2022	4.73	4.74	4.83	4.57	4.72	4.52	4.45	4.43	4.75	4.47	4.45	4.45	4.59	4.67	4.41	4.40
平均	4.66	4.69	4.77	4.54	4.63	4.43	4.42	4.39	4.69	4.23	4.21	4.33	4.55	4.57	4.44	4.42

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.59	4.65	4.75	4.48	4.57	4.39	4.40	4.42	4.67	4.08	4.13	4.29	4.52	4.38	—	—
2010	4.64	4.63	4.70	4.49	4.59	4.39	4.42	4.42	4.63	4.13	4.11	4.28	4.48	4.41	—	—
2011	4.62	4.65	4.75	4.46	4.62	4.39	4.38	4.38	4.65	4.12	4.11	4.29	4.53	4.39	—	—
2012	4.59	4.65	4.75	4.51	4.61	4.34	4.37	4.35	4.64	4.11	4.07	4.22	4.47	4.52	—	—
2013	4.56	4.60	4.67	4.42	4.51	4.28	4.33	4.27	4.60	4.10	4.11	4.20	4.41	4.45	—	—
2014	4.64	4.66	4.76	4.52	4.60	4.38	4.43	4.35	4.67	4.16	4.09	4.27	4.53	4.59	—	—
2015	4.61	4.67	4.72	4.51	4.60	4.44	4.41	4.38	4.68	4.13	4.07	4.31	4.52	4.55	—	—
2016	4.66	4.69	4.79	4.50	4.54	4.31	4.37	4.27	4.64	4.11	3.99	4.24	4.50	4.57	—	—
2017	4.68	4.71	4.80	4.51	4.57	4.37	4.40	4.30	4.67	4.12	4.06	4.30	4.54	4.60	—	—
2018	4.73	4.73	4.77	4.59	4.66	4.52	4.50	4.51	4.72	4.22	4.29	4.42	4.61	4.66	—	—
2019	4.68	4.73	4.84	4.59	4.66	4.51	4.52	4.49	4.74	4.27	4.30	4.43	4.63	4.69	—	—
2020	4.57	4.61	4.76	4.47	4.48	4.24	4.34	4.35	4.58	4.29	4.28	4.29	4.48	4.57	—	—
2021	4.69	4.73	4.80	4.59	4.66	4.44	4.51	4.46	4.73	4.41	4.34	4.36	4.57	4.64	4.51	4.51
2022	4.73	4.76	4.85	4.62	4.74	4.53	4.54	4.50	4.78	4.47	4.44	4.46	4.63	4.68	4.47	4.39
平均	4.64	4.68	4.77	4.52	4.60	4.40	4.42	4.39	4.67	4.19	4.17	4.31	4.53	4.55	4.49	4.45

(2) 科目別学生満足度

表5は、コア科目、ベーシック科目、アドバンスト科目の科目群別に、設問12の「この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか」、設問13の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」、設問14の「この授業は今後の学習にとって有意義なものでしたか」の科目ごとの平均(小数点第3位で四捨五入)を示したものである。各科目の授業の平均点については、履修者など、様々な事情も絡んでいる。個々の教員がそれぞれに適切に分析し、今後の授業に生かしていくことが求められるであろう。

特に設問13の総合満足度が4.0を下回る科目として、コア科目で0科目、ベーシック科目で1科目、そしてアドバンスト科目で6科目あり、それらの科目についての改善が求められる。

表5：科目ごとの回答の平均値

春学期・コア科目

秋学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14	科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	1	42	4.24	4.71	4.77	企業倫理	2	30	4.35	4.59	4.65
経営学	1	37	4.21	4.36	4.57	経営学	3	21	4.36	4.50	4.50
経営学	2	16	4.40	4.53	4.67	会計学	2	26	4.75	4.67	4.67
会計学	1	30	4.32	4.55	4.64	経済学	2	12	4.33	4.44	4.56
経済学	1	31	3.96	4.17	4.28	統計学	3	48	4.21	4.21	4.46
統計学	1	33	4.54	4.71	4.79	英語コミュニケーション	3	18	3.75	4.17	4.08
統計学	2	14	4.70	4.90	5.00	英語コミュニケーション	4	14	4.00	4.60	4.80
英語コミュニケーション	1	27	3.71	4.30	4.17						
英語コミュニケーション	2	12	3.25	4.00	3.91						

春学期・ベーシック科目

秋学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14	科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	1	30	4.38	4.43	4.57	経営戦略	2	25	4.10	4.15	4.25
経営戦略A		16	4.63	4.75	4.81	人的資源管理	2	23	4.52	4.86	4.96
ビジネスプランニング		31	4.90	5.00	5.00	マーケティング・マネジメント	2	21	4.53	4.93	4.93
人的資源管理	1	27	4.50	4.70	4.78	コーポレート・ファイナンス基礎	2	19	3.92	4.38	4.38
マーケティング・マネジメント	1	29	4.75	4.70	4.65	財務諸表分析		35	4.62	4.76	4.79
マーケティング・マネジメントA		16	4.80	4.93	4.87	テクノロジー・マネジメント	2	14	4.56	4.88	4.67
コーポレート・ファイナンス基礎	1	29	4.70	4.80	4.75	ベンチャービジネス	2	11	4.40	4.80	4.90
財務・管理会計		16	4.67	4.73	4.80	公共経営論	2	16	4.50	4.67	4.83
テクノロジー・マネジメント	1	25	4.56	4.72	4.83	ゲーム理論	2	27	4.21	4.21	4.36
情報システム		39	4.29	4.50	4.63	会社法		12	3.88	3.67	3.89
ベンチャービジネス	1	19	4.73	4.73	4.73	上級英語コミュニケーション	2	3	3.67	4.67	5.00
公共経営論	1	23	4.33	4.67	4.67	イノベティブ・シンキング		29	4.67	4.86	4.95
行動科学		25	4.52	4.67	4.86	コンサルティングプロセス		15	4.56	4.67	4.89
統計分析論		29	4.25	4.13	4.56						
ゲーム理論	1	17	3.90	4.10	4.10						
上級英語コミュニケーション	1	3	5.00	5.00	5.00						
イノベティブ・シンキングA		37	4.75	4.80	4.80						
コーチング論		16	4.27	4.60	4.60						
店舗施設マネジメント		16	4.27	4.47	4.40						

春学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
組織行動		61	4.37	4.57	4.64
管理会計		28	3.94	4.33	4.31
組織管理	1	55	4.23	4.58	4.69
人材マネジメント		14	4.77	4.92	4.92
地域振興		10	4.43	4.14	4.50
Business Negotiation		1	5.00	5.00	5.00
マーケティング・コミュニケーション	1	12	4.83	4.67	4.83
流通システム		5	4.50	5.00	5.00
消費者行動		12	4.88	5.00	5.00
リアルオプション		5	4.00	4.50	4.50
リスクマネジメント		2	5.00	4.00	5.00
行動経済学		26	4.38	4.69	4.50
製品開発		20	4.80	5.00	5.00
標準化経営戦略		27	4.07	4.50	4.36
知的財産戦略		10	4.40	4.40	4.20
Product Innovation		3	5.00	5.00	5.00
アントレプレナーシップ		10	4.17	4.50	4.33
ベンチャービジネス事例研究		9	5.00	5.00	5.00
中小企業経営革新		16	4.67	4.83	4.83
企業倫理事例研究		16	4.45	4.73	4.64
DX戦略・マーケティング		35	4.50	4.63	4.67
研究開発型ベンチャー創成		5	4.33	4.67	4.33
ベンチャーファイナンス		6	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論A		7	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論E		19	4.54	4.77	4.77
企業経営戦略特論I		54	4.23	4.43	4.49
課題研究基礎	1	33	4.60	4.81	4.86
課題研究基礎	2	12	4.70	4.90	4.90
企業経営戦略特論L		4	4.75	5.00	5.00
課題研究	1	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	3	2	4.50	5.00	5.00
課題研究	7	4	3.67	4.33	4.33
課題研究	17	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	21	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	25	1	5.00	5.00	5.00
課題研究	27	5	5.00	4.80	5.00
公共政策		5	4.75	4.75	4.75
自治体経営		7	4.00	4.25	4.25
病院経営		13	3.86	4.29	4.43
病院経営事例研究		13	4.27	4.55	4.64
病院アドミニストレーション		11	4.17	4.71	4.71
大学経営		1	5.00	5.00	5.00
大学経営事例研究		7	4.33	4.67	4.67
大学組織管理		4	4.67	4.67	5.00
税務戦略		8	4.33	5.00	5.00
組織診断		16	4.87	4.80	4.87
人材マネジメントA		16	4.73	4.87	4.93

秋学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
コーポレート・ファイナンス応用		11	5.00	5.00	5.00
組織管理	2	25	4.13	4.40	4.60
NPOマネジメント		6	4.00	4.50	4.50
事業システム戦略論		31	4.75	4.88	4.81
経営戦略事例研究		10	3.57	3.86	4.00
サービス・マーケティング		17	4.57	4.86	4.71
チャンネル・マネジメント		2	4.50	5.00	5.00
ブランド・マネジメント		15	4.67	4.89	4.89
マーケティング・コミュニケーション	2	10	4.40	5.00	5.00
マーケティング戦略		12	4.67	4.89	4.78
営業戦略		3	3.67	4.00	4.00
ロジスティクス		6	4.20	4.00	4.00
国際マーケティング		4	4.50	5.00	4.50
マーケティング・リサーチ		12	4.64	4.73	4.82
ソーシャル・マネジメント		21	4.20	4.80	4.80
証券投資		9	4.29	4.14	4.43
行動ファイナンス		5	4.00	4.33	4.67
マーケットデータ解析		6	3.80	4.00	4.20
イノベーション経営		22	4.41	4.59	4.59
生産システム		13	4.25	4.50	4.63
データマイニング		12	5.00	5.00	5.00
製品開発事例研究		7	4.80	4.80	5.00
システム・シンキング		43	4.69	4.69	4.85
システム・デザイン演習		36	4.67	4.60	4.73
中小企業経営・承継		9	4.33	4.67	4.67
M&A・再生・承継ストラクチャリング		10	4.44	4.67	4.78
知的財産権法		4	4.75	5.00	5.00
企業経営戦略特論B		12	4.67	5.00	5.00
企業経営戦略特論C		12	4.50	4.63	4.75
企業経営戦略特論F		22	4.44	4.89	4.89
課題研究基礎	4	13	5.00	4.88	5.00
課題研究基礎	5	8	4.43	4.43	4.71
課題研究基礎	7	5	5.00	5.00	5.00
課題研究基礎	8	11	4.50	4.50	4.50
課題研究基礎	9	3	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論K		19	4.71	4.86	4.79
企業経営戦略特論M		17	4.38	4.63	4.50
課題研究	2	9	4.40	4.71	4.71
課題研究	4	9	5.00	5.00	5.00
課題研究	8	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	14	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	18	9	5.00	5.00	5.00
課題研究	20	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	22	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	24	3	3.00	3.00	4.00
課題研究	28	9	4.75	4.75	4.88
課題研究	30	6	4.83	5.00	5.00
経営診断実習（流通業）	1	8	4.80	5.00	5.00
経営診断実習（流通業）	2	7	4.75	5.00	5.00
経営診断実習（製造業）	1	8	4.88	4.88	4.88
経営診断実習（製造業）	2	7	4.43	4.71	4.86
官民パートナーシップ論		9	4.00	4.50	4.50
公共政策事例研究		1	5.00	5.00	5.00
公共経営事例研究		3	4.67	4.67	5.00
自治体会計		3	4.50	5.00	5.00
自治体ガバナンス		1	5.00	5.00	5.00
自治体財務管理		2	5.00	5.00	5.00
病院会計		12	3.67	4.00	4.67
病院組織管理		12	4.43	3.86	4.00
医療経済学		20	3.33	2.92	3.50
地域医療マネジメント		14	4.00	4.50	4.40
医療サービス・マネジメント		7	4.50	4.75	4.75
学校法人会計		7	4.25	4.00	4.75
地方大学経営		5	4.60	4.80	4.60
大学運営		13	2.75	3.00	3.75
マーケティング戦略 (BtoB) 営業マネジメント		15	3.92	4.17	4.23
生産マネジメント		15	4.50	4.50	5.00
生産イノベーション		15	4.82	5.00	5.00
DX戦略・オペレーション		15	3.75	3.92	3.92

B. 教員による担当科目自己評価

教員による担当科目の自己評価は Web 上でのアンケート形式で実施されている。主な質問項目とその集計結果を以下に示す。

[主な質問項目]

1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。
2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。
3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。
4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。
5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。
6. この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。
7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。
8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。(複数選択可)
9. 上記 1～8 の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。

表 6 : 教員による担当科目自己評価集計結果

設問	開講期	そう思う	だいたいそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当なし	総計
1	春	33	15	1	0	0	0	49
1	夏	1	2	0	0	0	0	3
1	秋	30	18	0	0	0	0	48
1	冬	5	0	0	0	0	0	5
2	春	28	20	0	0	0	1	49
2	夏	2	1	0	0	0	0	3
2	秋	25	20	2	0	0	1	48
2	冬	5	0	0	0	0	0	5
3	春	22	24	3	0	0	0	49
3	夏	0	3	0	0	0	0	3
3	秋	16	30	2	0	0	0	48
3	冬	5	0	0	0	0	0	5
4	春	32	16	1	0	0	0	49
4	夏	1	2	0	0	0	0	3
4	秋	35	13	0	0	0	0	48
4	冬	5	0	0	0	0	0	5
5	春	22	23	3	1	0	0	49
5	夏	1	2	0	0	0	0	3
5	秋	19	17	11	0	0	1	48
5	冬	4	1	0	0	0	0	5
6	春	21	24	3	1	0	0	49
6	夏	1	2	0	0	0	0	3
6	秋	15	26	6	1	0	0	48
6	冬	4	1	0	0	0	0	5
7	春	21	24	3	1	0	0	49
7	夏	1	2	0	0	0	0	3
7	秋	22	20	6	0	0	0	48
7	冬	4	1	0	0	0	0	5
9	春	26	19	3	1	0	0	49
9	夏	1	2	0	0	0	0	3
9	秋	16	29	2	1	0	0	48
9	冬	5	0	0	0	0	0	5
合計		428	357	46	6	0	3	840

ほとんどの教員が、「そう思う」もしくは「だいたいそう思う」と回答しており、満足のいく講義を行っていることがわかる。

ただし、設問 5、設問 6、設問 7、設問 9 に少数であるが「あまりそう思わない」との回答もある。こうした回答がある理由や教員側の評価と学生の評価との関係などについて今後解析する必要が出てくるであろう。

5. 経営戦略専攻・国際経営コース

A. 学生による授業評価アンケート

以下に、国際経営コースにおける 2022 年度の授業評価アンケートの結果を春・秋学期別、及び通年で過去 2 年度の結果と比較して分析する。ただし、質問項目 14「授業内容の就職後の実用性 (Course content were highly relevant and useful for your future career)」は国際経営コースで独自に追加している質問項目である。

表 7：2022 年度授業評価結果 (2020 年、2021 年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入)

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2020	4.51	4.60	4.64	4.40	4.44	4.38	4.31	4.43	4.52	4.41	4.36	4.36	4.40	4.39	-	-
	2021	4.77	4.79	4.81	4.71	4.75	4.73	4.64	4.73	4.73	4.67	4.60	4.69	4.71	4.66	4.58	4.70
	2022	4.65	4.70	4.74	4.56	4.68	4.65	4.60	4.66	4.65	4.58	4.52	4.57	4.58	4.61	4.56	4.55
秋学期	2020	4.51	4.55	4.60	4.40	4.48	4.44	4.43	4.43	4.48	4.45	4.42	4.42	4.47	4.51	-	-
	2021	4.75	4.78	4.80	4.72	4.74	4.72	4.62	4.71	4.73	4.64	4.59	4.69	4.71	4.70	4.72	4.74
	2022	4.67	4.74	4.73	4.48	4.60	4.58	4.48	4.56	4.60	4.56	4.55	4.55	4.56	4.58	4.47	4.52
通年	2020	4.51	4.57	4.62	4.40	4.46	4.41	4.37	4.43	4.50	4.43	4.39	4.39	4.43	4.45	-	-
	2021	4.76	4.79	4.80	4.71	4.74	4.73	4.63	4.72	4.73	4.66	4.60	4.69	4.71	4.68	4.63	4.72
	2022	4.66	4.72	4.74	4.52	4.64	4.62	4.54	4.61	4.62	4.57	4.53	4.56	4.57	4.59	4.52	4.54

まず通年での学生による授業全体評価の水準自体は概ね高い評価で推移している。合計 14 の質問項目うち全ての項目で 4.5 点以上の評価が得られており、その他の項目でも 4.0 点を下回るものはなかった。質問項目の全てが 4.0 点を超過していることを評価したい。ただし 2022 年度においては、2021 年度に比べ、全ての質問項目で評価が低下した点は大きな課題として捉えるべきである。

この背景として、まず考えられるのは 2021 年度の評点向上の揺れ戻しである。2021 年度においては、2020 年度に比べ、全ての質問項目で評価が向上した。2022 年度では、2021 年度の評点向上の一部が失われたのである。依然として、対 2020 年度では評点の向上が保たれてはいるものの、これ以上の評点の低下を回避できるよう、2022 年度の評点低下の背景を分析し、対策を講じる必要性が大きい。

2022 年度において、特に評点の低下が著しかった質問項目としては、質問項目 16「You had no problem taking this course online.」(0.11 点の低下)、及び質問項目 17「The instructor was proficient in teaching online.」(0.18 点の低下) が挙げられる。いずれもオンライン授業に関わる質問項目であり、この面での不満が評点全体の低下につながった可能性が考えられる。

実際にグループ・インタビューの中でも、2021 年度に比べて Zoom を利用した授業に対する不満の声が目立つ。第一に、授業やグループ・ワーク等の場での、教員・学生間、及び学生同士の間でのコミュニケーションへの不満の声が強い。2022 年度はコロナ関連の制約が大きく薄れ、対面とオンラインを併用するハイフレックス授業が増加した。このため、オンラインで参加している学生から、対面参加の教員や学生と十分に効果的なコミュニケーションが取れないといった声が多く聞かれた。対面参加の学生が増えるにしたがって、オンライン参加者への(教員の)配慮が薄くなってしまう傾向があったのかもしれない。また、オンライン参加の学生がカメラをオフにしてしまうので、意見や反応が分からない、という声も聞かれた。両者間に負の相乗効果がある可能性も十分に考えられる。

さらに教員側の IT リテラシーを問う声も依然として強い。画像、音声、画面の共有など、基本的なスキル面で安定した授業運営に支障が出る事態が解消しきれていないものと考えられる。完全オンラインでの授業形態から、対面・オンラインの併用形態にシフトする過程で、もう一段の習熟が求められるよ

うになっている可能性も考えられる。

また、表8から表10はコア、ベーシック、アドバンストの科目群による同評価結果である。

表8：2022年度授業評価コア科目群結果（2020年、2021年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入）

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2020	4.53	4.65	4.64	4.37	4.44	4.32	4.30	4.40	4.54	4.36	4.29	4.22	4.36	4.25	-	-
	2021	4.84	4.90	4.88	4.86	4.92	4.86	4.78	4.86	4.88	4.76	4.57	4.71	4.82	4.76	4.67	4.88
	2022	4.49	4.51	4.61	4.37	4.51	4.50	4.42	4.51	4.52	4.39	4.38	4.38	4.35	4.45	4.29	4.38
秋学期	2020	4.59	4.68	4.66	4.54	4.66	4.51	4.46	4.45	4.54	4.44	4.40	4.44	4.49	4.51	-	-
	2021	4.69	4.69	4.63	4.59	4.56	4.59	4.56	4.63	4.63	4.44	4.39	4.53	4.53	4.59	4.65	4.68
	2022	4.49	4.56	4.63	4.32	4.44	4.46	4.39	4.49	4.44	4.27	4.39	4.39	4.39	4.37	4.21	4.35
通年	2020	4.56	4.66	4.65	4.44	4.54	4.40	4.37	4.42	4.54	4.40	4.34	4.32	4.42	4.36	-	-
	2021	4.78	4.81	4.78	4.75	4.78	4.75	4.69	4.77	4.78	4.63	4.49	4.64	4.70	4.69	4.66	4.80
	2022	4.49	4.52	4.62	4.35	4.48	4.49	4.41	4.50	4.49	4.35	4.38	4.38	4.37	4.42	4.26	4.37

表9：2022年度授業評価ベーシック科目群結果（2020年、2021年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入）

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2020	4.49	4.60	4.66	4.35	4.41	4.34	4.12	4.31	4.42	4.40	4.35	4.37	4.24	4.44	-	-
	2021	4.72	4.74	4.72	4.62	4.75	4.68	4.61	4.61	4.61	4.62	4.55	4.64	4.69	4.62	4.46	4.62
	2022	4.63	4.74	4.74	4.52	4.66	4.57	4.51	4.60	4.57	4.60	4.49	4.52	4.51	4.52	4.55	4.48
秋学期	2020	4.56	4.57	4.60	4.33	4.48	4.42	4.29	4.51	4.57	4.45	4.37	4.50	4.53	4.54	-	-
	2021	4.74	4.81	4.80	4.76	4.69	4.69	4.50	4.61	4.71	4.64	4.55	4.60	4.62	4.67	4.75	4.73
	2022	4.66	4.79	4.75	4.43	4.67	4.54	4.35	4.46	4.60	4.55	4.49	4.51	4.49	4.58	4.34	4.38
通年	2020	4.53	4.59	4.62	4.34	4.45	4.39	4.22	4.42	4.51	4.43	4.36	4.45	4.41	4.50	-	-
	2021	4.73	4.77	4.75	4.68	4.73	4.69	4.56	4.61	4.65	4.63	4.55	4.62	4.66	4.64	4.57	4.66
	2022	4.65	4.77	4.75	4.47	4.67	4.55	4.41	4.52	4.59	4.57	4.49	4.51	4.50	4.56	4.43	4.43

表10：2022年度授業評価アドバンスト科目群結果（2020年、2021年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入）

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2020	4.50	4.56	4.64	4.43	4.45	4.43	4.41	4.50	4.55	4.44	4.40	4.45	4.49	4.47	-	-
	2021	4.77	4.78	4.82	4.69	4.67	4.70	4.61	4.74	4.73	4.66	4.64	4.71	4.69	4.65	4.61	4.68
	2022	4.80	4.85	4.86	4.75	4.85	4.83	4.82	4.82	4.81	4.72	4.66	4.76	4.82	4.80	4.81	4.74
秋学期	2020	4.44	4.46	4.56	4.38	4.37	4.41	4.51	4.37	4.38	4.45	4.47	4.35	4.42	4.49	-	-
	2021	4.78	4.79	4.88	4.75	4.85	4.79	4.71	4.81	4.79	4.73	4.70	4.81	4.84	4.77	4.73	4.78
	2022	4.76	4.77	4.74	4.62	4.60	4.68	4.66	4.70	4.67	4.70	4.69	4.68	4.71	4.68	4.73	4.73
通年	2020	4.47	4.51	4.60	4.41	4.42	4.42	4.46	4.44	4.47	4.44	4.43	4.40	4.46	4.48	-	-
	2021	4.77	4.79	4.84	4.71	4.74	4.73	4.65	4.77	4.76	4.69	4.66	4.75	4.74	4.69	4.65	4.72
	2022	4.78	4.81	4.81	4.69	4.73	4.76	4.74	4.76	4.74	4.71	4.67	4.72	4.77	4.74	4.78	4.73

全体評価との比較で考えると、傾向としては前述した内容と同じ傾向が見受けられる。つまり2022年度は全体的に評価が低下した。

中でもコア科目群においては評点の低下が顕著であった。特に質問項目16「You had no problem taking this course online.」（0.4点の低下）、及び質問項目17「The instructor was proficient in teaching online.」（0.43点の低下）での評点の低下が著しく、上記の全体的な評点の低下傾向は主にコア科目群の不振によるものと考えられる。この傾向はベーシック科目群でも（やや希薄ではあるものの）観測される一方で、アドバンスト科目群では、わずかながらではあるが、むしろ評点の上昇が観測されている。ベーシック科目やアドバンスト科目を履修する頃には、学生側に良い意味でも悪い意味で

も慣れが生じていること、また、基本的な知識の習得を目的とするコア科目群においては、どうしても（クラス討議、学生によるプレゼンテーションなどに比べて）講義の比率が高くなるため、十分な工夫をしないと双方向のコミュニケーションが不足しがちであること、等によるものと考えられる。コア科目では11科目中5科目を非常勤講師に依頼しているが、（専任教員はもちろん）専任教員ではない先生方にも、どのような働きかけを行って、コア科目群の満足度を高めていくべきなのか、真剣な検討が必要である。

一方、アドバンスト科目群で、わずかながらも向上が見られた質問項目は、上記のオンライン授業関連の二項目に加えて、質問項目1「The course met the objectives and topics described in the syllabus」（0.01点増）、質問項目2「The instructor was well prepared for the classes」（0.02点増）、質問項目6「Instructor's interest in whether students learned was high」（0.03点増）、質問項目7「The amount of work assigned was reasonable」（0.09点増）、質問項目10「You prepared and reviewed thoroughly for the classes」（0.02点増）、及び、質問項目11「You made additional efforts for the course such as searching related materials for course topics」（0.01点増）、質問項目13「Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students」（0.03点増）、質問項目14「Course content were highly relevant and useful for your future career」（0.05点増）、の8項目であった。昨年度、課題として指摘した生徒側の自主的な学習姿勢を問う質問項目10、11で向上が見られた点は高く評価したい。来年度以降も、この傾向が持続されるよう、継続的な努力が必要である。

B. 教員による担当科目自己評価

教員による担当科目自己評価アンケートでは、軒並み、高い自己評価結果が得られた。全ての質問項目に対し、肯定的な回答が9割前後を占め、「そう思わない Strongly disagree」、及び「あまりそう思わない Disagree」に対する回答比率の合計が10%を超える質問項目は皆無であった。少なくとも、教員の自己評価に関して言えば、大きな課題は示されておらず、教員側では2022年度も満足すべき授業が提供されたと考えているといえよう。

より詳細に各質問項目への肯定的な回答の比率を示すと、下記の通りである。すなわち、「The course met the objectives and topics described in the syllabus」（「そう思う Strongly agree」、「だいたいそう思う Agree」の回答比率：各々65%、31%）、「You encouraged students comment and discussion」（同：65%、30%）、「Your interest in whether students learned was high」（同：67%、30%）、「You answered students' questions clearly and sufficiently」（同：66%、30%）、「Students have obtained analytical abilities and critical thinking from the course」（同：52%、31%）、「Overall, you are satisfied with the course」（同：54%、30%）、「Course content were highly relevant and useful for students' future career」（同：57%、26%）、「Do you think your goals have been achieved? Please answer this question in terms of goals you set at the beginning of the course on the basis of the answers of the above 1-8 questions」（同：54%、31%）。

学生による満足度評価では、絶対水準としては大きな問題があるわけではないものの、対前年度比較では顕著な評点の低下がみられている。学生による満足度評価と、総じて肯定的な評価が得られている教員の自己評価との間には、ややギャップがあることは否定できない。

6. 会計専門職専攻

A. 学生による授業評価アンケート

(1) 概要

学生による授業評価アンケートは、【設問1】から【設問9】が「教員の授業内容と方法」について、【設問10】と【設問11】が「学生自身の取組み」について、【設問12】から【設問15】が「授業の満足度」について、そして【設問16】と【設問17】が「オンライン授業」について問うものである。各設問の平均値（小数点第2位を四捨五入）は、次のとおりであった。

表 11：各設問の平均値

番号	設問文	2022年度春学期		2022年度秋学期	
		1クォーター	2クォーター	3クォーター	4クォーター
1	授業内容は、シラバスで示された主題や目的に十分沿っていましたか。	4.7	4.9	4.9	4.9
2	教員は十分に準備をして授業に臨んでいましたか。	4.7	4.9	4.9	4.9
3	教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか。	4.8	4.9	4.9	4.9
4	授業で指定された教科書や配布された資料は、学習の助けとなりましたか。	4.7	4.8	4.8	4.8
5	教員は学生が発言したり議論をすることに十分な配慮を払いましたか。	4.5	4.7	4.7	4.8
6	教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか。	4.3	4.6	4.7	4.8
7	この授業で与えられる課題の量は適正なものでしたか。	4.6	4.7	4.7	4.8
8	授業の内容と時間配分は適正なものでしたか。	4.6	4.8	4.8	4.8
9	教員は学生の質問に丁寧に答えていましたか。	4.8	4.9	4.8	4.9
10	この授業を受けるに当たって予習や復習を積極的に行いましたか。	4.5	4.6	4.6	4.7
11	この授業を受けるに当たって担当教員が示した参考文献に当たりましたか。	4.6	4.6	4.8	4.7
12	この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか。	4.5	4.6	4.6	4.7
13	*この授業は全般的に満足のいくものでしたか。	4.6	4.7	4.8	4.9
14	この授業は今後の学習にとって有意義なものでしたか。	4.7	4.8	4.8	4.9
15	この授業は仕事に役立ちそうですか。	4.6	4.7	4.7	4.8
16	【該当する場合にお答えください。】 この授業はオンラインで受講することに問題はなかったか。	4.6	4.6	4.9	4.8
17	【該当する場合にお答えください。】 教員はオンラインでの授業に習熟していたか。	4.5	4.7	4.9	4.8

2020年度と2021年度はコロナ禍により原則としてオンライン授業であったが、2022年度から対面授業が再開された。ただし、オンライン参加希望の学生も多数いるので、ハイフレックス型授業では希望者は引き続き Zoom を通じてオンライン参加が可能である。また、これまでのオンライン授業の経験を踏まえ、対面授業を Zoom で録画し、復習用にいつでも閲覧できるようにしている。さらに、主にアドバンスト科目の一部において、オンライン授業の方が対面と同等あるいはそれより良い教育効果が見込める授業については、引き続きオンライン授業を継続している。

対面授業再開1年目となる2022年度では、全体として2021年度より評点が改善しているが、第1クォーターでは、【設問6】「教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか」(4.3)をはじめ、いくつかの設問で評点が低い傾向にある。

これは、1年目の学生にとっては初めての履修になるので、授業の難易度がよく分からず、自分の現在の知識水準を超える難易度の授業を履修してしまうことが原因と考えられる。この傾向は昨年度と同様であるが、学生の能力に適さない難易度の授業を履修することは、学生・教員双方にとって好ましいことではないため、シラバスなどを通じて、受講にあたって求められる予備知識の水準を知らせる必要があるだろう。

なお、オンライン授業2年目の2021年度から、【設問16】と【設問17】でオンライン授業に関する満足度について尋ねている。2022年度には対面授業は再開したが、一部オンライン参加の学生、及び一部オンライン授業は継続していることから、質問項目として引き続き設けている。2022年度の回答結果

（【設問 16】で 4.6～4.9、【設問 17】で 4.5～4.9）を見るに、概ね好評だったといえる。

（2）全体評価～専攻平均値～

専攻平均値は、すべての設問の評点を平均したもの（小数点第二位で四捨五入）である。会計専門職専攻が開設された 2005 年度から現在までの推移は、次のとおりである。

表 12：専攻平均値の推移

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
春学期	3.9	4.2	4.3	4.4	4.3	4.3
秋学期	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
春学期	4.3	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6
秋学期	4.4	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
春学期	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7	4.7
秋学期	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8

専攻平均値は、2007 年度秋学期まで上昇し続けた後、2008 年度から 2011 年度までは 4.3 から 4.5 という値を記録してきた。2012 年度以降は、4.5 以上を保ち続けている。このように近年は、総合的な評価としては高位での安定が図られているものと言ってよいであろう。また、2020 年度はコロナ禍により急遽、授業がオンラインに変更されたが、全体としては概ね例年と同水準を維持する結果となった。さらに、オンライン授業 2 年目となった 2021 年度は、2020 年度よりも改善し、春学期も秋学期も 4.7 と、かなり高い評価となった。さらに、対面授業が再開された 2022 年度は、春学期 4.7、秋学期 4.8 と、なお一層高い評価となっている。

(3) 個別評価

① 教員の授業内容と方法 (【設問1】～【設問9】)

表 13 : 【設問1】から【設問9】の平均値

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
(専攻全体)									
2017年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7
2017年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.7
2018年度春学期	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6
2018年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6
2019年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
2019年度秋学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
2020年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.5	4.3	4.4	4.5	4.6
2020年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2021年度春学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8
2021年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
2022年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8
2022年度秋学期	4.9	4.9	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
(コア科目)									
2017年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6
2017年度秋学期	4.7	4.6	4.7	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.5
2018年度春学期	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
2018年度秋学期	4.6	4.6	4.7	4.6	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5
2019年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
2019年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
2020年度春学期	4.7	4.8	4.9	4.6	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6
2020年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7
2021年度春学期	4.8	4.9	5.0	4.8	4.6	4.4	4.7	4.7	4.8
2021年度秋学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8
2022年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.5	4.3	4.6	4.6	4.8
2022年度秋学期	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7
(ベーシック科目)									
2017年度春学期	4.9	4.9	5.0	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.9
2017年度秋学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7
2018年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2018年度秋学期	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7
2019年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7
2019年度秋学期	4.7	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2020年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5
2020年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2021年度春学期	4.7	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8
2021年度秋学期	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.6	4.7	4.8	4.8
2022年度春学期	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9
2022年度秋学期	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
(アドバンスト科目)									
2017年度春学期	4.8	4.7	4.9	4.6	4.9	4.7	4.5	4.6	4.9
2017年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.8
2018年度春学期	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.7
2018年度秋学期	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7
2019年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8
2019年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.9
2020年度春学期	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9
2020年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7
2021年度春学期	4.8	4.9	5.0	4.8	4.7	4.6	4.8	4.7	4.9
2021年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8
2022年度春学期	4.9	5.0	5.0	5.0	4.9	4.8	4.9	4.9	5.0
2022年度秋学期	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	5.0

オンライン授業2年目の2021年度から始めた取り組みとして、学生の利便性向上及び学修効果のため、Zoomの機能を利用して、授業の動画を録画し、受講生に公開することにした。録画の視聴により、学生は復習が容易になり、また欠席してしまった学生も、授業にキャッチアップできるようになった。この取り組みは対面授業を再開した今年度も継続しており、多くの学生が利用している。

対面授業を再開した2022年度も概ね、オンライン授業だった2021年度と同程度の結果となっている。

② 学生自身の取組み（【設問10】・【設問11】）

「学生自身の取組み」を問う【設問10】と【設問11】の評価に関して、例年、他の設問に比して常に低くなっているが、2022年度の評点は比較的高くなっている。

表14：【設問10】から【設問17】の平均値

	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
(専攻全体)							
2017年度春学期	4.3	4.1	4.4	4.6	4.7	—	—
2017年度秋学期	4.3	4.1	4.4	4.6	4.6	—	—
2018年度春学期	4.3	4.3	4.4	4.5	4.6	—	—
2018年度秋学期	4.4	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019年度春学期	4.5	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—
2020年度春学期	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	—	—
2020年度秋学期	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	—	—
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7
2021年度秋学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
2022年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
2022年度秋学期	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9
(コア科目)							
2017年度春学期	4.2	4.0	4.3	4.6	4.7	—	—
2017年度秋学期	4.3	4.0	4.2	4.4	4.5	—	—
2018年度春学期	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5	—	—
2018年度秋学期	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5	—	—
2019年度春学期	4.5	4.3	4.4	4.6	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	—	—
2020年度春学期	4.5	4.3	4.4	4.5	4.7	—	—
2020年度秋学期	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	—	—
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7
2021年度秋学期	4.5	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
2022年度春学期	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6	4.4
2022年度秋学期	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.8	4.8
(ベーシック科目)							
2017年度春学期	4.4	4.3	4.5	4.8	4.8	—	—
2017年度秋学期	4.3	4.2	4.5	4.6	4.7	—	—
2018年度春学期	4.4	4.4	4.5	4.6	4.7	—	—
2018年度秋学期	4.4	4.3	4.6	4.7	4.7	—	—
2019年度春学期	4.5	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—
2020年度春学期	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2020年度秋学期	4.4	4.3	4.5	4.7	4.8	—	—
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5
2021年度秋学期	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	4.8
2022年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	4.7	4.8
2022年度秋学期	4.6	4.7	4.7	4.9	4.9	4.8	4.9
(アドバンスト科目)							
2017年度春学期	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7	—	—
2017年度秋学期	4.1	4.0	4.5	4.7	4.7	—	—
2018年度春学期	4.5	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2018年度秋学期	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019年度春学期	4.2	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.6	4.5	4.7	4.8	4.8	—	—
2020年度春学期	4.7	4.9	4.7	4.8	4.8	—	—
2020年度秋学期	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	—	—
2021年度春学期	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8
2021年度秋学期	4.6	4.4	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8
2022年度春学期	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2022年度秋学期	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8

③ 授業の満足度（【設問12】～【設問14】）

【設問12】～【設問14】の評価は、授業に対する評価の結論的指標となるものである。専攻全体で見ると、【設問12】～【設問14】の2022年度の評点は概ね良好な結果となっている。

科目の難易度による違いをみると、【設問 12】～【設問 14】では、例年通り、コア科目からアドバンス科目へと、難易度が上がるにつれて、評点も緩やかだが上昇している。

最後に、この授業評価アンケートは、2019 年度までは対面授業の最終週の授業時間内で、マークシートで実施してきたため、最終週の授業に出席していた学生はほぼ全員回答していた。しかし、コロナ禍によりオンライン授業へと切り替わった 2020 年度から、授業時間外に学生個人がオンラインで回答するように変更された。

このため、最終週の授業に出席していない学生も回答できるようになった反面、授業に出席している学生が必ずしも回答してくれるとは限らなくなってしまった。オンラインアンケート実施 1 年目の 2020 年度は、全体で回答率（＝回答者数／履修者数）は 70%であったが、2021 年度は 57%、そして 2022 年度は 59%であった。コロナ禍直前の 2019 年度は 87%であったので、オンラインアンケートの回答率は低い水準にとどまっている。

これは、授業時間外にオンラインアンケートを実施することになったことで、これまで回答していた学生が回答しなくなってしまったこと、及び、何回も同じ内容の授業アンケートを回答させられることで、マンネリの状態となり、学生が回答することを止めてしまったことが考えられる。

授業評価を行うにあたり、アンケートの回答率が低いことは好ましくないため、回答率を上げるための何らかの取り組みが必要である。授業評価アンケートの実施方法を再びマークシートに戻すことは現実的ではないので、2022 年度からは、最終週の授業時間内で、オンラインアンケートの QR コードを示し、スマートフォンなどで回答してもらうように変更した。しかし、教員全体でその取り組みが浸透しておらず、一部の授業では行われていなかった。2023 年度は、徹底して取り組みたい。

B. 教員による担当科目自己評価

2019 年度から、教員の担当科目自己評価はオンラインで実施されることになり、それに伴い、質問事項も大幅に変更された。設問は次のとおりである。

<選択回答>

<p>【設問】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。 2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。 3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。 4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。 5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。 6. この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。 7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。 8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。（複数選択可） 9. 上記 1～8 の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。
--

【設問 8】以外の回答の選択肢	【設問 8】の回答の選択肢
<ul style="list-style-type: none"> ● 5：そう思う ● 4：だいたいそう思う ● 3：どちらとも言えない ● 2：あまりそう思わない ● 1：そう思わない ● NA：該当しない <p>から一つを選択。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生の理論の理解を促す ● 学生の思考力の向上を図る ● 学生の学習への自発性を促す ● 学習内容の理解の定着を図る ● 学生間の相互学習を促す授業運営 ● 学習内容の実務への応用性 ● 理論と実践のバランスを考えた授業の構成 ● その他 <p>から該当するものを選択（複数選択可）。</p>

<記述回答>

1. この科目において、実施してよかった点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。
2. この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。

<選択回答>の回答数は次のとおりであった。

表 15：教員による担当科目自己評価（2022年度）<選択回答>

(専攻全体)	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	(ベーシック科目)	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	93	43	41	63	34	37	56	52	5そう思う	29	15	12	15	13	17	22	21
4だいたいそう思う	28	42	49	43	63	73	57	62	4だいたいそう思う	11	12	20	16	15	20	13	17
3どちらとも言えない	0	8	29	4	15	11	5	6	3どちらとも言えない	0	0	6	1	4	3	2	2
2あまりそう思わない	0	2	1	0	2	0	0	0	2あまりそう思わない	0	2	1	0	2	0	0	0
1そう思わない	0	1	1	1	1	0	0	0	1そう思わない	0	1	1	1	1	0	0	0
NA該当しない	0	25	0	10	6	0	3	1	NA該当しない	0	10	0	7	5	0	3	0
合計	121	121	121	121	121	121	121	121	合計	40	40	40	40	40	40	40	40
平均値	4.8	4.3	4.1	4.5	4.1	4.2	4.4	4.4	平均値	4.7	4.3	4.0	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5
昨年度平均値	4.7	4.3	4.1	4.5	4.2	4.3	4.5	4.4	昨年度平均値	4.8	4.3	4.2	4.5	4.3	4.4	4.7	4.4

(コア科目)	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	(アドバンスト科目)	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	34	6	9	20	3	4	15	10	5そう思う	30	22	20	28	18	16	19	21
4だいたいそう思う	9	16	13	17	31	33	27	28	4だいたいそう思う	8	14	16	10	17	20	17	17
3どちらとも言えない	0	8	21	3	8	6	1	4	3どちらとも言えない	0	0	2	0	3	2	2	0
2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	2あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	1そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
NA該当しない	0	13	0	3	1	0	0	1	NA該当しない	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	43	43	43	43	43	43	43	43	合計	38	38	38	38	38	38	38	38
平均値	4.8	3.9	3.7	4.4	3.9	4.0	4.3	4.1	平均値	4.8	4.6	4.5	4.7	4.4	4.4	4.4	4.6
昨年度平均値	4.7	4.1	3.9	4.4	4.0	4.0	4.3	4.2	昨年度平均値	4.7	4.5	4.3	4.6	4.4	4.4	4.6	4.4

設問 8（選択割合）	専攻全体	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
学生の理論の理解を促す	69%	60%	80%	68%
学生の思考力の向上を図る	45%	33%	40%	66%
学生の学習への自発性を促す	55%	37%	68%	61%
学習内容の理解の定着を図る	70%	67%	83%	61%
学生間の相互学習を促す授業運営	10%	5%	20%	5%
学習内容の実務への応用性	44%	28%	48%	58%
理論と実践のバランスを考えた授業の構成	31%	21%	25%	47%
その他	0%	0%	0%	0%

対面授業を再開した 2022 年度は、オンライン授業であった 2021 年度と概ね変わらない結果となっている。

<記述回答>では、【設問 1】「この科目において、実施してよかった点は何ですか」、【設問 2】「この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか」に自由記述形式で回答してもらっている。自由記述形式なのは、教員の自由な意見を集めるためである。

各設問に対する回答の全体的な傾向を把握するために回答内容を分類し、これに基づいて分析を行っている。ただし、次のような制約、限界がある点に留意されたい。まず、分類にあたっては回答の文言よりもその趣旨に基づいているが、各設問の回答は自由記述形式であるため、その判断が主観的なものとならざるを得ない部分がある。回答が少ない項目は、表には含めていない。そして、単一の授業で非常に多くの項目を回答している場合は、特に重要と思われる 2、3 程度の項目に限定して集計している。

【記述設問 1】 担当科目において実施してよかった点

担当科目において実施してよかった点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表 16：担当科目において実施してよかった点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
小テスト・中間テスト	21%	5%	—
宿題・レポートなどの課題	21%	21%	2%
要点を得た、もしくは詳細なレジュメ・配布資料の作成	19%	5%	7%
基礎知識や重要論点の確認等を踏まえた丁寧な解説・指導	13%	21%	18%
事例・実務に則した授業（ゲストスピーカーやケーススタディの工夫も含む）	8%	5%	16%
理論解説、実務解説、演習などのバランスの工夫	6%	12%	2%
テスト・課題に対する教員からのフィードバック	8%	9%	14%
学生による課題発表、プレゼンテーション、ディスカッション	2%	4%	20%
教員と学生間の質疑応答といった双方向な授業の実践	—	9%	11%
グループワーク、グループディスカッション	—	2%	2%
パワーポイント等のICT機器の使用・LUNA等の授業運営補助ツールの利用	2%	2%	—
オンライン授業における効果的な指導法の実践	—	2%	—
対面授業の実施	—	—	7%
特になし	—	4%	—

例年、コア科目やベーシック科目では、「小テスト・中間テスト」が非常に多い。しかし、2020年度は、突然のオンライン授業化にともない、回答数が激減し、代わりに「宿題・レポートなどの課題」が（例年、この回答も多いのだが）例年よりも増加した。

オンライン授業2年目の2021年度は、コア科目の「小テスト・中間テスト」が2020年度よりやや増加した（2020年度は5%→2021年度は13%）。これは、オンライン授業においても、何らかの方法で小テストを実施する方法を見つけ出したからかもしれない。

そして対面授業が再開された2022年度は、再び「小テスト・中間テスト」が21%とかなり増加した。対面授業に戻ったことで、小テストが実施しやすくなったようであり、今後もコア科目においては高い回答率が予想される。

【記述設問2】担当科目について改善・工夫をした方がよい点

担当科目について改善・工夫をした方がよい点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表 17：改善・工夫をした方がよい点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
レジュメ・テキスト・配布資料等の教材の改善	—	16%	3%
講義（解説）・演習などの時間配分	9%	—	8%
学生の能力・予備知識・理解度の差への対応	33%	8%	22%
双方向な授業の導入・双方向性を増やす取り組み	—	8%	6%
学生による自発的学習の促進	11%	11%	3%
授業で扱うトピックの選定、及び質と量のバランス	9%	11%	25%
演習問題や課題の内容の改善	—	—	11%
小テストや課題などの実施、または量の改善	11%	3%	—
オンライン授業における指導法の改善	—	5%	—
学生の理解度の把握	4%	3%	—
対面授業が望ましい	2%	—	—
ディスカッションやプレゼンテーションの実施	2%	8%	8%
ICT機器の使い方の改善	13%	—	—
特になし	7%	27%	14%

2022年度から対面授業が再開されたので、当然ながら「オンライン授業における指導法の改善」は回答率が激減した。

ここ数年、入学者が増加傾向にあり、そのこと自体は好ましいことではあるが、それに比例するよう

にして「学生の能力・予備知識・理解度の差への対応」の回答が増加した。アドバンスト科目で22%と高いのは、単にまだコア科目やベーシック科目で基礎を固められていない学生が受講しただけの可能性が高いので、これはシラバスに、履修のために必要となる予備知識を詳しく記載することで解消が見込める。しかし、コア科目で33%と高いのは、これより基礎的な難易度の科目が存在しないことから、かなり深刻な問題である。これは、入試においてももう少し厳しく審査を行うか、または、入学前準備講座をもう少し充実させるべきかもしれない。

現在、入学前準備講座は、主にビジネススクールの学生向けに、財務会計の基礎、数学、エクセルなどを教えており、アカウンティングスクールの学生はあまり参加していない。しかし、近年、アカウンティングスクールでは留学生が増えてきて、日本語で専門的な文章を書くことが苦手な学生も増えてきたことを考えれば、留学生向けに、日本語で経営・会計の専門的な文章を書く練習をする入学前準備講座（外部業者の通信講座の利用も考えられる）を用意するのも一案かもしれない。

また、コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンラインで実施するようになったことで、回答率が低下している。この問題の原因を究明するため、2023年度より、教員への質問事項において、

<選択回答>10. 授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか。 1: はい / 2: いいえ
を追加し、アンケート回収率が低い原因の分析に利用する計画である。

7. 今後の課題

A. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

コロナ禍の2020年度は多くの質問において2019年度を下回る結果となったが、その後研究科として授業実施方法の見直しなどを行ったことが影響し、2021年度は回復に転じ、続く2022年4月からは、多くの授業が対面授業やハイフレックス型授業で実施されたことを受け、回復傾向にあった2021年度をさらに上回る結果となった。また、前述のように、授業の満足度に関する問13の平均値は、全科目群の通年で、過去最高を記録することができた。推測できる主な要因としては、対面、ハイフレックス、フルオンラインの3つの授業形式の中で、ハイフレックスの授業が最も多くなり、学生が対面かオンラインでの受講について、選択できる機会が増えたことが、可能性として考えられる。

2023年5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、分類上「5類」へ引き下げられるという社会の大きな変化に直面するなかで、大学における学習環境としては、コロナ禍以前の状況に近づきつつある。しかしながら、依然として感染対策など新型コロナウイルス感染症対策への取り組みが求められる職場環境に身を置く社会人学生も一定数存在する。また、社会人をはじめとする学生の受講上の利便性の観点からも、まだまだハイフレックス形式に対するニーズは高いと思われる。

そのような状況にある中で、2022年度のオンライン授業に対するスコア（問16、問17）は、前年度から下降傾向がみられた。このような結果になった原因の1つとして、授業担当者のハイフレックス授業におけるノウハウや機器操作のスキルの習熟度が影響していると考えられることから、これらの向上に引き続き努めることで、安定した授業運営に取り組んでいく必要があるのではないだろうか。

このようなことから、ハイフレックス授業へのサポートの継続や、ハイフレックスでの授業メソッドの共有等のFDなどが、今後も課題になると考えられる。大阪梅田キャンパスでのPCサポートのできる事務スタッフの配置や教学補佐の活用などは、予算の問題もあるが、可能な限り継続していくことが望まれる。また、FD活動を通じて、たとえば、教室や履修者の規模に応じた、対面受講者とオンライン受講者を組み合わせたクラス・ディスカッションの方法といった、ハイフレックスの授業の工夫のための様々なノウハウなどを、相対的に習熟した教員から非常勤講師も含めた教員全体にシェアするなどしていくことで、研究科全体としての授業の質の向上の実現につなげられるのではないかと考える。

B. 経営戦略専攻国際経営コース

2022年度の授業満足度評価では学生、教員共に総じて高い評価が得られているものの、学生による授業評価では、コア科目群を中心に評点の低下が生じており、来年度以降の取り組みに重要な課題を残す結果となった。

第一は、教員のハイフレックス型授業への習熟度である。アドバンスト科目群の健闘に示されるように、Zoomを利用したオンライン併用の授業方法について、教員側が一定程度、習熟度を高めている。しかし、その一方で、対面での出席を前提にしながらも、少数派になりつつあるオンライン出席者にも十分に配慮した授業を実施するスキルには、従来のオンライン受講を中心にした授業とは異なった工夫が求められるようになってきているのかもしれない。こうした年々、変化する授業形態（学生の出席形態）に柔軟に対応するスキルが求められており、継続的な洗練が求められているものと考えられる。また授業の一環として学生に課されるグループ課題等も授業の満足度に影響することを考慮すると、授業時間外に学生同士がオンラインで議論する際の進め方についても一定の指導（あるいは働きかけ）が必要になるのかもしれない。

第二に、学生による授業評価結果への、教員側の関心の向上である。再三指摘しているように、2022年度はコア科目群を中心に授業評価の評点が低下した。一方で教員の自己評価では極めて良好な結果が得られており、両者のギャップは明確である。こうしたギャップを認識することが、学生による授業評価アンケートを活かして授業の質向上につなげていく道のりの第一歩である。教授会等で、授業評価アンケート結果を教員全体で共有し、認識をすり合わせる重要性は例年になく高いものと考えられる。

C. 会計専門職専攻

コロナ禍により突然のオンライン授業を余儀なくされた2020年度は、講義形式の授業が多いコア科目の授業評価に著しい悪影響をもたらした。しかし、オンライン授業2年目の2021年度では、教員がオンライン授業の方法に習熟したこともあり、コア科目も含めて授業評価は大きく持ち直し、全体として例年並みの評価となった。

そして2022年度から、当アカウンティングスクールでは、オンライン授業の有効性が認められる一部の授業を除き、基本的にすべての授業で対面授業に復帰した。また、昨年度と同様、対面授業の場合でも、Zoomによる授業の録画・学生への提供は継続されている。

このように、2022年度からは、対面授業を基本としつつも、オンライン授業の利点もうまく活用しながら、学生にとっての利便性向上・教育効果の促進を図っている。

また、これはコロナ禍前からの課題であったが、当アカウンティングスクールには、社会人経験のない学生、社会人学生、留学生など、多様な学生が在籍しており、授業参加前の予備知識にかなりの差が見られる。この問題への対処は困難ではあるが、教員による工夫が求められる。

アドバンスト科目で予備知識に差がある問題は、単にまだコア科目やベーシック科目で基礎を固められていない学生が受講しただけの可能性が高いので、これはシラバスに、履修のために必要となる予備知識を詳しく記載することで解消が見込める。しかし、コア科目で予備知識に差がある場合、これより基礎的な難易度の科目が存在しないことから、かなり深刻な問題である。これは、入試においてももう少し厳しく審査を行うか、または、入学前準備講座をもう少し充実させるべきかもしれない。近年は留学生が増えているので、留学生向けの入学前準備講座を用意するのも一案であろう。

最後に、コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンラインで実施するようになったことで、回答率が低下している。この問題の原因を究明するため、2023年度より、教員への質問事項において、「〈選択回答〉10. 授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか。 1: はい / 2: いいえ」を追加し、アンケート回収率が低い原因の分析に利用する計画である。

D. 総評

今回の報告書でも例年通りに経営戦略専攻の企業経営戦略コースと国際経営コース、会計専門職専攻の3つに分けてそれぞれの問題点が指摘されている。2022年度も2021年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大下での授業への対応が進められた。一方、2022年度の秋学期からは徐々に新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、教室での対面授業が増えてきている。この状況変化の中でも執行部の指導の下、教職員一体となった様々な取り組みで大きく満足度を下げること無く授業が実施できたことは大きな成果であった。

オンライン授業への対応に関しては、アンケート調査に項目を加えて、チェックをしており、データ

の収集を通して、各授業における適否などを検討する段階に来ている。また、各専攻・コースでオンライン授業を続けていくことを想定すると学生の学力低下が起きていないかどうかの調査なども必要とされるだろう。また、授業評価の低い科目での改善努力等が個別に望まれる。

企業経営戦略コースでは、教員のオンライン授業への習熟が進んだこともあり、評価は高まる傾向にある。この点は評価しても良いであろう。専門職大学院ではますますビジネスの現場における高度な実践力を支える知識、理論、技能が求められている。そのための授業の工夫が一層求められる。

国際経営コースでは、ハイフレックス型の講義への教員の習熟の必要性、及びコア科目群を中心とした評価の低下が認められ、授業評価の結果を活かして改善を図ることが必要である。

会計専門職専攻では、対面授業に移行してきており、オンラインでの講義はその特性を活かして、授業を録画したものや動画の教材を組み合わせることの有効性を確認することが望まれる。また、留学生への対応や予備知識の少ない学生への対応について引き続き検討を行う必要がある。

最後に、オンラインに移行した授業評価の回収率の改善が見られなかったことは問題である。2023年度ではより積極的な改善策を実施している。本報告書のデータを利用して授業改善が図られていることを考えるとインタビューの活用も含めて来年度の報告書の課題としたい。

以 上

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科

内部質保証委員会

コンビーナー 山本 昭二